

05

がんの治療と回復

教科書 p.16-17





がんの治療と緩和ケア

がんの治療法には
どんな種類がある？





手術療法



放射線療法



化学療法

1 がんの治療法

名称	手術療法	化学療法	放射線療法
治療法	手術でがんを切り取る方法。最近では内視鏡を用いた手術も普及されている。	抗がん剤などの医薬品の服薬、点滴や注射で細胞の増殖を防ぐ。	放射線をがんに照射させることによりがんの増殖を防ぐ。
メリット	完全に取り除くことができる可能性がある。	全身的な効果が期待できる。	臓器機能を残すことができる。
デメリット	メスを入れるため、体への負担が大きい	白血球減少、脱毛、吐き気などの副作用がある。	副作用が生じることがある。

1 がんの治療法

●インフォームド・コンセント

医師から十分な説明を受け理解した上で、
どのような方法を用いるかを選択すること

●セカンド・オピニオン

別の医師や医療機関に意見を求めること

患者自身が理解・納得した上で選択・実行することが重要

2 緩和ケアとがん患者の生活の質


●緩和ケア

がん患者やその家族一人ひとりの様々な辛さをやわらげ、より豊かな生活が送れるよう支援すること

例) 体の痛み → 医師・薬剤師

将来への不安 → 公認心理士 など

それぞれの分野の専門家がチームとして支援する



がんを当事者となって
考えてみよう

【仮想事例】

- ① 18歳 高校生 部活動の引退試合前
- ② 43歳 既婚 子供2人を養っている
- ③ 70歳 孫の結婚식을1か月後に控えている

問1.

がん宣告された後、どんな不安や悩みを抱えているか

→ 思いっただけ付箋に書いていこう！

→ 出た意見をグループ分けしよう！



問2.

治療法を選択するうえで何を重要視したいか

→ 出た意見をクラス全体で発表しよう！



今日の授業を踏まえ、
がんとどう向き合っていくべきか
自分の意見をまとめよう

